

令和元年度 グローバル・リーダー養成ワークショップ

令和元年7月30日（火）にグローバル・リーダー養成ワークショップが行われました。1年生から3年生までの希望者30名が参加しました。自ら積極的に意見を発表する姿は、キラキラとまぶしく、まさに未来のリーダーたちでした。

前半のワークショップでは、児童労働をテーマに、シミュレーションカードゲームや講義をとおして、世界の子どもたちの現状について学びました。

後半のワークショップでは、「女性の美と男女平等」をテーマに、ネイティブの講師と英語でディスカッションを行いました。

ワークショップ① 講師：フリー・ザ・チルドレン伊藤菜々美先生

児童労働 シミュレーションカードゲーム

カードゲームを用いて、児童労働を強いられている子供たちの人生を疑似体験しました。無事自立できた子供は、30人中2人だけだったことには、大きな衝撃を受けました。



自分の引いたカードを見せながら、グループで互いの児童労働体験について語り合いました。辛かったこと、嬉しかったこと、あのときああすれば良かった、など、児童労働を自分のこととして考えることができました。



講義「世界の子供たちと貧困」

「スマートフォンのためのレアメタルや、チョコレートなど、私たちが日々使っている商品の裏側に児童労働という現実があると知り、驚きました。」（生徒感想文より）



講師の伊藤先生は、途上国を中心にこれまで約30か国を訪問し、支援事業にかかわってきました。「とても分かりやすい講義と、伊藤先生の行動力にとても感動しました。」（生徒感想文より）



ワークショップ②「英語ディスカッション」

少人数グループに分かれての英語ディスカッションです。テーマは、「女性の美と男女平等」についてで、司会進行は本校ALTのアメリア先生です。



講師の先生へのインタビュービンゴから始まった後半のワークショップ。出身、趣味、好きな食べ物、ペットなどを聞いて、打ち解けていきました。



「女性はこうあるべき、という固定観念で人を判断してはいけない、一人一人の個性を理解し尊重する社会を作っていきたいと思いました。」(生徒感想文より)



「女性の見た目への差別についての記事を読み、女性の社会進出のためにはこのような身近な問題からなくしていかなければならないと強く思いました。」(生徒感想文より)



～参加生徒の声～

- ✿「世界を変えることは自分を変えること」の言葉がとても印象に残りました。私も以前にイクバル少年についての本を読んで、勇気もらったことがあり、今日再び勇気づけられました。(3年生)
- ✿フリー・ザ・チルドレンは子供が立ち上げた団体で、12歳の子供が世界を変えようとしたのはすごいと思いました。自分ももっとアクションを起こしていきたいです。(2年生)
- ✿昨年度も参加しましたが、昨年は自分から発言ができずに悔しい思いをしました。今回は、自分から手を挙げて意見を発表することができ、自分の成長を感じることができました。来年もぜひ参加します。(2年生)
- ✿ I hadn't talked with native speakers so often, so I had been very nervous before I joined this workshop. I really enjoyed the discussion. I realize I have grown up. Now I am more confident. I want to take advantage of this experience and make progress with my English skills. (1年生)